

平素より美作岡山道路の建設推進にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

美作岡山道路は、平成31年3月24日に「瀬戸IC～熊山IC」間及び「佐伯IC～吉井IC」間が開通し、全線約36kmの内、約6割が供用されました。

本号では、県内の多くの事業所の方が、美作岡山道路の全線開通に寄せる、さまざまな期待の声を紹介します。

安全性、定時性向上への期待

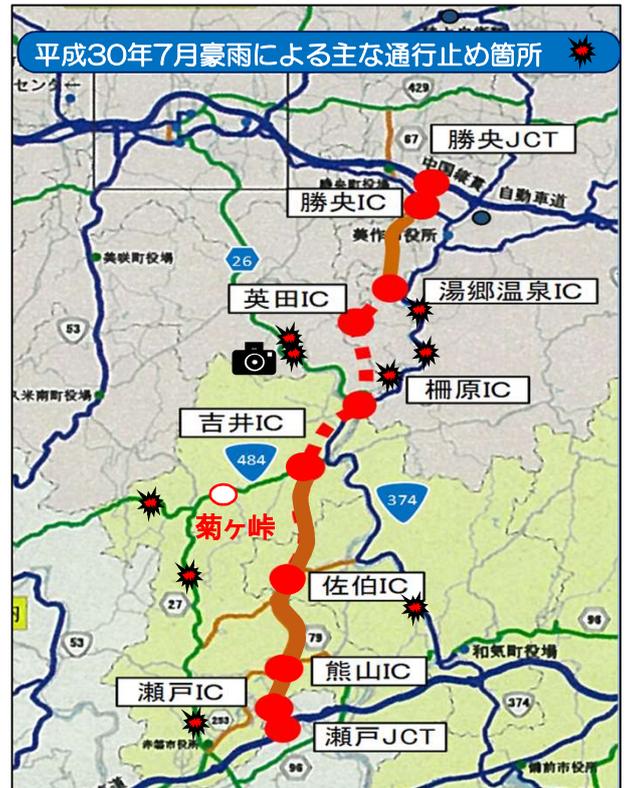
- ・定時性が見込まれるため、時間的制約がある納品やイベントの場合でも安心できる。
- ・既存道路の渋滞時、迂回路として利用できる。
- ・歩行者・自転車がいないため、事故発生リスクが減少する。
- ・菊ヶ峠を迂回できるため、冬期の安全性が向上する。
- ・工場間の移動ルートや通勤経路の選択肢が増える。
- ・通勤時間が短縮される。

防災面の効果への期待

- ・西日本豪雨で、四方八方が通行止めになったが、開通すれば、孤立するリスクが減る。
- ・吉野川沿いの374号が大雨により通行止めになった場合でも、迂回路として活用できる。
- ・災害の際の移動ルートが確保でき、支援物資の輸送が可能になる。



崩土で全面通行止



全線開通されれば、大規模な災害の時でも安心だね！



備前県民局地域づくり推進課:「美作岡山道路」の利活用に関する意識調査結果より

安全性や定時性の向上に加え、災害発生時にも安定した交通を確保する防災面の効果についても、全線開通を期待する多くの声が寄せられました。県では、引き続き、美作岡山道路の整備に全力で取り組んでまいります。